

## SB Energy、インド・アンドラプラデーシュ州の 350MW メガソーラー発電所の運転を開始

～インド中央政府による太陽光発電施策「JNNSM」に基づく初の太陽光発電事業～

SB Energy Holdings Limited (Executive Chairman : Manoj Kohli、CEO : Raman Nanda、以下「SB Energy」) は、インド・アンドラプラデーシュ州に建設した 350MW の太陽光発電所の営業運転を開始しました。この発電所は、インド中央政府によって 2009 年に施行された太陽光発電施策「JNNSM (Jawaharlal Nehru National Solar Mission : ジャワハルラル・ネルー・ナショナル・ソーラー・ミッション)」の下で初めて運転を開始する太陽光発電所です。

SB Energy は現在、ソフトバンクグループ株式会社 (以下「SBG」) の完全子会社であり、独占禁止法に関する規制当局からの承認をもって、パーティ・エンタープライゼズ・リミティッド、フォックスコン・テクノロジー・グループの 3 社による合弁会社となる予定です。本発電所は 2017 年 3 月 29 日、アンドラプラデーシュ州カルヌール地方の Ghani Sakunala Solar Park で竣工した世界で 7 番目に大きな太陽光発電所で、電力販売契約時の予定よりも 51 日早く運転を開始しました。また、本発電所の電力はプロジェクト落札時に合意した 25 年間、4.63 ルピー/kWh (約 8.70 円\*/kWh) の売電価格でインドの電力会社である NTPC Limited へ売電され、400K/V の送電線に接続し、インドの約 70 万世帯を超える一般家庭へ供給されます。

※ 1 ルピー=1.88 円で換算した場合

SB Energy の Executive Chairman である Manoj Kohli は以下のように述べています。

「アンドラプラデーシュ州で 350MW の太陽光発電所の運転開始を発表できることを大変うれしく思います。このプロジェクトはクリーンな再生可能エネルギーを用いた国家のエネルギー需要と恒久的な発展を見据えたナレンドラ・モディ首相の素晴らしいビジョンに寄与するものです。また、このプロジェクトはソフトバンクグループによるインドでクリーンな再生可能エネルギーを供給する確約に基づき、インド国内の約 70 万世帯に電力を届けます」

SB Energy の CEO である Raman Nanda は以下のように述べています。

「私たちはアンドラプラデーシュ州の継続的な協力を深く感謝しています。州のご助力により、予定より前倒して本プロジェクトは運転を開始することができました。これは我々がクリーンエネルギーでインドの成長に貢献する最初のステップであり、今後もさらに寄与していきたいと考えます」

SB Energy はインド中央政府による太陽光ならびに再生可能エネルギー普及促進施策の下、20GW の再生可能エネルギー発電所を建設することを目指しています。